



片江川に初めて登場した鯉のぼり



多くの方に議会を訪問して頂いています



同僚県議と共に県政報告会を開催



地域のソフトボール大会で選手として参加



選挙翌日に島廻橋交差点で朝の街頭活動



どんたく城南区舞台では登壇して挨拶



県民の想いを県政に届ける事が一番の仕事



企業団体の様々なイベントでご挨拶



連合福岡主催の会場で壇上からご挨拶



120回を超える街頭演説を各地域で実施



地元の学生の皆さんとの意見交換会



「まごころ製品」を積極的に応援しています

県政報告

福岡県議会議員(福岡市城南区)

守谷正人

地域の声を
県政に活かす!



MORIYA REPORT 2015・夏 Vol.25

県議として3期目のスタート!

統一自治体議員選挙(知事・県議・政令市議)の投開票が4月12日に行われました。今後の4年間、福岡の舵取りを誰に任せるのか大変重要な選挙であり、私も城南区の皆様から3期目の負託を受けることが出来ました。

今後も初心を忘れずに、県民の皆様の信頼に応える誠実な政治を心がけるとともに、この4年間県政発展のために全力を注いで参る所存であります。引き続き宜しくお願ひ致します。

福岡県議会議員 守谷正人



新たな気持ちで議会に登壇しました

県議会常任委員会委員長就任!

福岡県議会の常任委員会「新社会推進商工委員会」の委員長に就任しました。この委員会は青少年対策、県民の文化及びスポーツの振興、男女共同参画社会の推進、安全・安心まちづくり及び消費者政策の推進、国際交流の推進、NPO等との協働の推進及び生涯学習の振興、中小企業振興、先端成長産業の育成、観光振興、企業立地の推進などについて審査及び調査を行っています。

そのひとつひとつの仕事が福岡県の将来を見据える上でとても重要な委員会です。今後も福岡県政推進のために委員長として全力を注いで参る所存です。



第77代福岡県議会副議長に就任した原竹岩海議員とともに

会派の副幹事長に

私が属する県議会の会派「民主党県政クラブ県議団」は現在22名の議員で構成されています。今回会派の「副幹事長」の職を拝命しました。新人議員5名、2期生7名、3期生5名、4期生以上5名の若い会派ですが、2元代表制の一翼として、引き続き是々非々の議論を行って参ります。



5月臨時議会開催

福岡県議会では5月14日、15日の両日「5月臨時議会」が知事から招集され開催されました。今期は改選を迎えた事で新たに井上忠敏県議を議長、原竹岩海県議を副議長として選出を行いました。

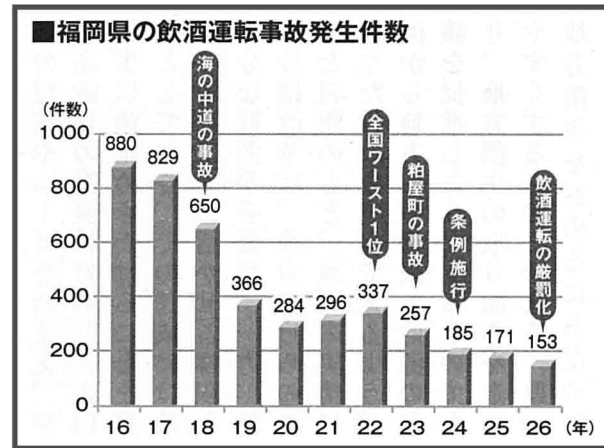
また、8つの常任委員会の正副委員長の選出なども行われました。県内45選挙区から選出された86名(女性は9名)の議員が揃い、いよいよ3期目の議会が始まりました。



◆飲酒運転撲滅条例を改正しました!

平成27年4月1日施行(一部は9月27日施行)

福岡県では、平成22年の飲酒運転事故件数が337件と全国最多、平成23年は257件でワースト2位と全国最悪水準が続き、若い命が犠牲になるなど大変痛ましい事故が相次ぎました。そのため福岡県議会では、会派を超えた議員提案により全国初の罰則付きの「福岡県飲酒運転撲滅運動の推進に関する条例」を制定しました。この条例は、平成24年4月に一部が施行、同年9月には罰則に関する規定を含め全面施行されています。



県民全体で飲酒運転を撲滅しましょう!

福岡県飲酒運転撲滅運動の推進に関する条例改正のポイント

I アルコール依存症に関する受診義務及び違反者に対する指導の強化

道路交通法に違反して飲酒運転で検挙された者には、全て初回からアルコール依存症に関する診断又は飲酒行動に関する指導を義務づけ(9月21日)

II 受診義務者の義務履行の促進

- ① 指定医療機関の数の拡大(4月1日)
- ② 受診しやすい環境づくり(4月1日)

III 飲酒運転防止教育の強化

- ① 教育関係者に対する本条例及びアルコール健康障害対策等に関する知識の習得の徹底(4月1日)
- ② 飲酒運転に関する社会教育の推進(4月1日)

IV 通報義務の拡充

全県民に対し、飲酒運転を目撃した場合に警察官へ通報することを努力義務とする規定を新設(4月1日)

V 優れた取組の普及

飲酒運転撲滅活動に関する優れた取組を広め、一般的なものとするための取組について規定(4月1日)



条例の本文は、福岡県議会のホームページをご覧ください。

◆「明治日本の産業革命遺産」の世界遺産登録をイコモスが勧告

明治日本の産業革命遺産は幕末から明治にかけ、非西欧地域で初めて近代化に成功した日本の重工業の歩みを辿り、九州・山口を中心とする8地域、23の構成資産からなります。

我が会派は5月19日から北九州市の官営八幡製鉄所や大牟田市の三池炭鉱、中間市の遠賀川水源地ポンプ室を視察しました。

技術立国・日本の礎を築いた未来への遺産「明治日本の産業革命遺産九州や山口と関連地域」を後世に残していかなくってはけません。

<福岡県>

- ・官営八幡製鉄所「旧本事務所」「修繕工場」「旧鍛冶工場」
- ・遠賀川水源地ポンプ場
- ・三池炭鉱・三井港「宮原坑」「万田坑」「専用鉄道敷跡」「三池港」



遠賀川水源地ポンプ室を視察(中間市)



三池炭鉱宮原坑を訪問(大牟田市) 三池港閘門を視察(大牟田市)

◆樋井川河道掘削工事

平成22年度より樋井川床上浸水対策工事を行って参りましたが、城西橋から草香江新橋上流の間で土砂が堆積していましたので、2月より測量作業を行い、区間を3分割して河道掘削工事を実施しました。これは樋井川上流部での河川改修工事に伴う土砂が下流に流れ、その土砂を取り除くための工事です。河道掘削工事は5月に完了しました。

また、「樋井川床上浸水対策特別緊急事業」も駄ヶ原川合流点等最上流部を工事しており、この工事が完成すればいよいよ樋井川の床上浸水対策事業が完了となります。



鳥飼校区周辺の河川工事を視察

◆祝!「ラグビーワールドカップ2019」福岡開催決定!

オリンピック、サッカーワールドカップに並ぶ世界三大スポーツイベントの一つが「ラグビーワールドカップ」です。アジア初となる2019年日本大会の開催地のひとつに福岡市が選ばれました。

私もこれまで「福岡県スポーツ議員連盟」の事務局長として、そして福岡県のスポーツを所管する常任委員会の委員として誘致を積極的に行って来ました。

本県開催によってスポーツ振興や青少年の健全育成がなお一層図られると共に世界各国何十万という観戦者が訪れる事から国際交流の推進や経済効果等も期待されています。



福岡出身で元日本代表の永田氏とガッチリ握手